

REQXIGN Ai for kintone



kintone開発をAIがアシスト 設計から開発まで効率化

kintoneでのシステム開発時、こんなお悩みありませんか？

要件・仕様が漏れてる

ヒアリングはしっかり行ったが、開発を進めると仕様漏れが発覚。懸念や懸案の抽出は経験で培うしかなく、提案の内容も属人的になってしまう。



kintoneプラグイン数が多すぎる

kintoneプラグインの全てを把握するのは困難。どれが最適か判断が難しい。適切なプラグインを選定するのに調査時間が掛かる。



終わらない開発

アジャイル型の対面開発で進めたが、修正の繰り返しで開発が終わらない。ドキュメントを作るにも要件を漏れなく整理し落とし込むにも時間がかかる。

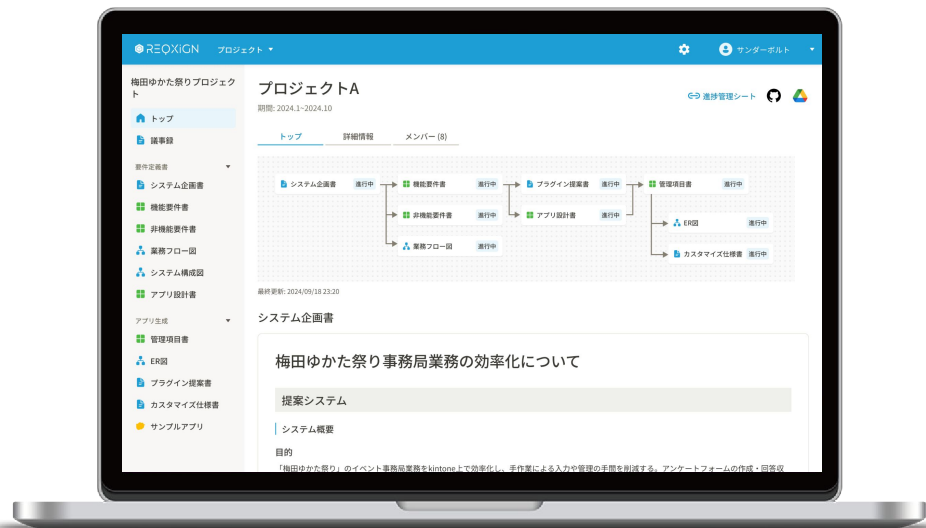


そんなお悩みを  **REQXIGN Ai** for kintone は解決します

Sler・ITコンサルが行う、要件定義・設計などの **上流工程部分、開発まで** を REQXIGN Ai for kintoneがアシスタント。

kintone開発時の癖を理解し、要件定義や設計書の自動生成を行います。

開発工数を削減しより多くの企業へ IT化を推進する手助けを行うとともに、社内のIT人材育成の学習コストを削減します。



▶ **kintone開発に特化** **課題整理や要件を整理します**

kintoneの知識を持ったAIが打合せ内容を解析し、独自の設計アルゴリズムに基づき、要件定義を行い設計書の生成からアプリ作成を行います。

▶ **標準機能、カスタマイズ、プラグインを活用し** **実装内容を提案**します

標準機能で実装できない要件には、独自DBをもとに構築したRAG技術で、プラグインやツールの提案を行います。様々なプラグインで機能を比較し提案書を作成します。

機能一覧



打ち合わせ

課題の理解

顧客が抱える課題を文字起こしデータや議事録からの確に理解します。

顧客要望の理解

顧客要望を理解し、必要な機能を洗い出します。

解決方法の提案

独自のシステム設計手法をもとに最適なシステムを提案します。



要件定義工程

システム概要(企画書)の自動生成

要求機能の抽出、さらに抽出した機能にkintoneを活用する上での実装方法を分類

機能要件書の自動生成

要求機能で考案されたユースケースをもとに作成します。

必要な図を自動生成

業務フロー図、アプリ構成図、ER図を自動生成します



設計工程

アプリ設計の自動生成

アプリに必要と考えられるフィールド情報を自動生成します。

プラグインの提案

必要機能にマッチしたプラグインを独自のプラグインDBから提案

カスタマイズ仕様書の作成

カスタマイズ仕様書を自動生成します



開発工程

kintoneアプリの作成

生成されたアプリ構成、管理項目設計に従いサンプルアプリを自動作成します

サンプルコードの生成

カスタマイズスクリプトの自動生成と自動アップロードします

プラグインの自動設定

プラグインのインストールとプラグイン設定の自動設定します

kintoneに特化したAIが開発自体をDX

Sler・コンサルタントが抱える根本的な課題を解決します

より本質的な
業務改善に注力できる



開発・打合せ時の
優秀なアシスタント

打合せ内容を解析して設計時に必要な質問事項や懸念事項など展開し、打合せと開発をアシストします。

学習コストを削減し
社内人材をトランスフォーム



人材育成
kintone開発スキルの習熟

kintone特有の機能やクセをAIがアシスタントすることで開発の経験が少ない方でもkintone開発が可能です。

現在ベータ版利用者募集中です

ベータ版についてのご相談・お申込みは
コチラ

<https://www.reqxign.net/contact>

以下ご協力いただけるSier・コンサルティングパートナー様には
REQXIGN AI for kintoneを無料でご提供しております。



フィードバック

利用時の使い勝手・操作感・ご要望・感想
など、フィードバックをお願いします。



3プロジェクト以上の利用

1企業内にて、3プロジェクト以上でのご利用をお願いします。



修正内容の提出

生成されたドキュメントの修正ポイント・内容のご提出をお願いします。

お問い合わせ

企業名 株式会社ノベルワークス

所在地 大阪府大阪市北区東天満 1-11-13 AXIS南森町ビル2F

代表 満村 聡

WEBサイト <https://www.reqxign.net>

メールアドレス info@novelworks.jp

担当者 前田

ISO/IEC27001 (ISMS) 認証取得

